

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

いきいき♪

生き生き ふるさと通信

第29号 2012年10月1日発行【真田地域に全戸配布】



下の写真は17年前のお二人です。



写真は堀内章一、功様ご夫婦。

お2人でアザレアンさんだに入所して
いらっしゃいます。

若い頃はいろいろ苦労されたそうですが、その分絆も深く、お互い姿が見えないと「いさちゃんは？」「章ちゃんは？」と心配される姿が見られます。

今回の写真を撮影した際、気分も乗ってこられたのか、お互い見つめ合ったり、体を寄せ合ったりと仲むつまじい姿を見せていただきました。

誰もが羨むおしどり

夫婦です。(栗林)



お買いもの発見！

買い物難民という言葉聞いたことがありますか？街中にいても昔ながらの店舗が無くなり、車の運転が出来ないとお買い物が出来ないと嘆く声を最近耳にします。

そんな中、耳より情報です



【イトーヨーカドーの移動販売車でお買い物体験をしました】

所定の公民館等に30分程度の滞在ですが、十分に品定めしてお買いものを楽しむ事が出来ました。車で乗り合わせ来られた方々にぎわっていました。

車の中に陳列用の冷蔵庫があり、車内でショッピング。車の外には野菜、果物が並んでいました。日用品はもちろん生鮮食料品、下着まで取り揃い、一番便利だと思ったのが2人前程度のお惣菜です。約500アイテムが取り揃っていると宣伝されていましたが、十分な品揃えに買い物を楽しむ事が出来ました。

毎週火曜日に次の場所に止まります。一度行ってみてはいかがでしょうか。

販売場所	販売時間（火曜日です）
大日向公民館	10時45分～11時15分
戸沢公民館	11時40分～12時00分
西部コミュニティーセンター	12時15分～12時45分
入軽井沢公民館	13時00分～13時30分
中原公民館	14時50分～15時10分

詳しくは、
イトーヨーカ堂 アリオ上田
0268-27-6611
へお問い合わせください。



【地元の耳より情報】

長農協で、傍陽方面の方々へのサービスとして、「送迎付き買い物支援」が行われています。

毎週火曜日、入軽井沢方面（午後）・横道方面（午前）にマイクロバスが出て、所定の位置でバスが停まります。

（詳しくは Aコープ長店72-2009 にお尋ね下さい）
大きな袋を下げて車に乗り込む皆さんにお聞きしました。毎週のように利用しているそうです。お買い物のついでに郵便局に行くことも出来て便利だと話されていました。毎回同じような顔ぶれの為か、楽しそうな雰囲気でした。お仏壇に供えるのか、お花を買われた方もお見かけしました。



食べたい物、欲しい物を自分の目や手で確かめてのお買いものは、楽しいし生活の中で大事なことで改めて感じました。（望月）



真田町の頌徳碑をたずねて

第7回 倉島蔵二翁頌徳碑（旧長村）

文・若林幸正（通信員No.49）



倉島蔵二翁の功労を称える碑が、真田町菅平ダムのほとりに建立されている。

◎ 碑 文

翁は昭和26年に長村15代の村長となり、村政の振興と昭和33年に実現した3村（長・傍陽・本原）の合併真田町誕生に尽力された。又（菅平の鉱害問題）菅平硫黄採掘防止運動の中心として活躍し、神川の清流を守った。昭和27年に認可された。菅平ダムの建設は、幾多の問題を解決して県下初めての菅平方式※を採用し、東奔西走し不屈精神力をもって昭和43年の完成に努力された。翁はその生涯をかけた土地改良事業推進の功績により、勲五等瑞宝章を賜った。ここに翁の永年に亘る功労を後世に伝えるため、同志相計り碑を建立し、その徳を称えるものである。

平成7年10月29日

倉島蔵二翁頌徳碑建立委員会

◎ 経 歴

1. 本籍地 真田町本原竹室
2. 昭和26年本原村竹室に生まれる。
その後長村角間区倉島家に婿入り
3. 長村々会議員
4. 長村助役
5. 昭和26年、長村々長当選（2期）
6. 神川沿岸土地改良区理事長
7. 昭和43年、勲五等瑞宝章
8. 昭和44年、
全国土地改良事業連合会長表彰
9. 全国町村会長表彰

< ひとくち メモ >

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 頌徳碑建立地 | 真田町菅平ダム右岸湖畔 |
| 2. 写真撮影 | 平成24年2月 |
| 3. 建立者 | 倉島蔵二翁頌徳碑建立委員会 |
| 4. 建立年月日 | 平成7年10月29日 |
| 5. 参考文献 | 建立現地頌徳碑、碑文より |
| 6. 資料提供者 | 角間区倉島秀紀 |



※菅平方式とは、

県は財産組合の土地（50万坪）の無償提供を受け、県（企業局）はこの土地を別荘団地に造成して売り出しその代金からダム工事費と土地改良の助成金を支出、残金を組合と県で折半とする事業方式。

CAFE & GALLERY

Saan

～ さあん ～



日替りランチ 600円<コーヒー付700円> 数に限りがあります。

軽食(カレー、ピラフ等)やスイーツもごさいます。

TEL (0268) 72-8100 定休日・日曜日

11:00 ~ 17:00 (ラストオーダー16:30)

★広告募集中★

1か月 3,150円(税込)

3か月 6,300円(税込)

(有)風屋とうふ店 代表 田中 新平さん

さっそうと風屋とうふ店の看板娘、「十林寺琴子ちゃん」とともに新平さん参上、実はここ幸村夢工房には、さっさだ幸村ことゆきたんが待っていました。さっそく私たちはゆきたんと共に田中さんとお話することができました。「風屋とうふ店を開業して18年多くの人たちの支えがあって続けてこられました」と、地域の人たち、商工会の人たち、お客様、職員の方たちに対する感謝の気持ちを強調されていました。



18年前の開業に至るまでの経緯は障害者と共に社会参加する仕事をなさっていたお父さんの姿を見て、すでに中学3年生の時には障害者と共に事業をしたいと考えていたそうです。もともと食品に興味をもっていた田中さんは、高校・大学と食品化学を専攻し、研究に力を注ぎ、今の美味しいおとうふづくりに至っているわけです。真田地区のおいしい水と豆に拘りお客様のニーズにこたえ、触感と後味の良い柔らかとうふと、硬い豆腐、油揚げを作り続けてきました。そして今では最初の理想どおり、障害者の方を含め日々頑張っているそうです。



ところで、冒頭でさっさだ幸村ことゆきたんに触れていますが、田中さんはゆきたんの活躍を熱く語ってくれました。ゆきたんは真田三代歴史検定、上級の認定証を持っていて、上田、お散歩倶楽部プロジェクトにのって上田市に実存する観光拠点、歴史的史跡、地元密着型の企業、事業所等を有名、声優の真田アサミ様の声ゆきたんで、上田市の地域活性化につなげるよう上田市の魅力をもっと知っていただき関心をよせてもらうよう活動しているそうです。

最後に、田中さんはこう語ってくれました。「今の子供達に厳しい批評ではなく夢を与え、これから働くことの辛さ、苦しさも乗り越えいつしかやりがいと、達成感となれるような社会であるように、また、障害を持つ人たちも社会参加ができ納税できる社会であってほしい。」それから、多義にわたる小説も書きたいと、抱負に満ちていました。

次回の社長さんは…。 おたのしみに♡。 (柳沢)

ホームページもご覧ください。<http://www.kazeyatofuten.com/>



十林寺琴子さんと天城絹代さん



我が家のペット自慢



菅平GHの尾崎久美子さん

我が家の愛犬は、名前を「さくら」と言い、目がクリクリの可愛いポメラニアンの子で5歳になります。

この子は、お客様がとても好きで、来客があると真っ先に玄関へ走って行き愛きょうを振りまいています。なので、家に来られるお客様は、2度目からは、さくらがお散歩などでいないと、「あら！さくらちゃんは」

と訪ねて来られます。

この子は、残念な事に車が苦手です。車に酔ってしまうのです。どうしても車で行かなければ行けない病院やトリミングは、さくらにとっては行きたくない所なので、一向に好きになってはくれません。車が好きになれば色々な所に連れて行ってあげられるのと思います。

さくらが大好きなのは、おばあちゃんです。お散歩はほとんど毎日おばあちゃんで行きます。さくらはおばあちゃんのペースに合わせて歩いてくれます。おばあちゃんがお友達と長いおしゃべりをしていても、せかす事無く話が終わるのを待ってくれます。おばあちゃんもさくらの事が大好きなので色々話しかけてくれます。ほめてくれます。常に家におばあちゃんが居てくれるのでほとんど、1日中1匹でお留守番をする事は有りません。おばあちゃんが居てくれるので、さくらも安心なのだと思います。だから、外出から帰って来たおばあちゃんを迎える姿は、他の誰よりも一番嬉しさの表現が違います。ちょっと悔しいです。

さくらが我が家に来てくれて癒しや、会話、笑顔が増えました。嬉しいとき、悲しいとき、落ち込んだ時、怒った時、何でも聞いてくれます。答えは自分で出してね！と、首を傾けます。

ちょっと親ばか？



ご自慢のペットについて語ってみませんか？投書・インタビューなんでもOKです。
事務局までご連絡ください。



「今、図書館が面白い！」

真田図書館では、8月11日に講演会が、8月25日に、コンサートが行われました。

講演会は益子輝之さん、小林良子さんによる軽妙なトークで、終始会場は笑いが絶えませんでした。コンサートでは、木内裕美さん、貴大さん親子によるヴァイオリンとシンセサイザーの見事なコラボレーションが図書館内に響き渡り、大人から子供まで充分楽しめるひとときでした。

新しくなった真田図書館に、ぜひ皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか！（小市）





アザレアン通信



7月21日

八重原のグラウンドで、みまき福祉会、依田窪福祉会、恵仁福祉協会(アザレアン)の3チーム対抗のソフトボール大会が行われました。今回で6回目となるこの大会に勝ったことがないアザレアンチーム。今回は最強のメンバーに最強の応援団を従え、参戦しました。目指すは “優勝！”

1回戦はみまき福祉会と、打撃陣の活躍が光り、見る見る点数が入り、応援にも力が入りました。圧勝かと思いきや相手も負けていません。危ないところまで追いつかれましたが何とか逃げ切り見事勝利！！

2回戦は、依田窪福祉会とです。守りがとってもいいチームで、なかなか得点が入りませんでしたが、若手とベテランのチームワークの良さでこちらも何とか勝利することが出来、見事初優勝を飾ることが出来ました。

好プレーあり、珍プレーあり、ハラハラドキドキの試合に、応援団の私たちも声を張り上げ、我を忘れ声援を送りました。とてもレベルの高い見ごたえのある戦いに最初から最後まで目が離せませんでした。試合後は場所を移し、表彰式、続けて親睦会を兼ねてバーベキューが行われました。

全法人が入りまじり、おいしいビールとおいしいお肉で話に花が咲き、とても良い交流が出来ました。あつと言う間の楽しい時間でした。

みまき福祉会、依田窪福祉会の皆様ありがとうございました。

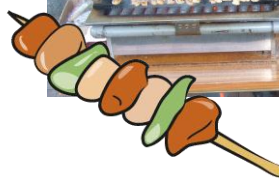
そしてアザレアンチームの皆様お疲れ様でした。(井出)



8月5日

今年も恒例となりました「アザレアン えぼし会」による真田まつりに合わせた、焼き鳥販売が行われました。当日は、直火による焼き鳥ですので、あたり一面に焼き鳥の香ばしい香りが漂い、関係者はもちろん、一般の方々が多く訪れていただきました。ボランティアによる販売ですので、お得！・お手軽！な焼き鳥です。

是非次回、機会がよろしければご賞味ください。(五十嵐)



編集後記

- 風屋とうふ店 田中様、お忙しい中にもかかわらず沢山のお話をお聞かせくださいましてありがとうございました。(柳沢)
- 今回、初めていきいき通信の作成に参加させていただきました。表紙の写真を担当しましたが、誰にするか、どういう姿に撮るか、とても迷いました。ご夫婦の協力でよい写真が撮れたと思います。今後もより良いものを作るように頑張っていきますので、よろしくお願いします。(栗林)

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@azarean.jp

ホームページ <http://www.azarean.jp/>

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2012年12月1日の発行です。